

英語科学習指導案

平成30年11月28日(水) 第5校時(13:50~14:40) 1年O組

授業の視点

興味のある人物やキャラクターについて伝える場面において、マッピングメモを活用しながら自分の考えや気持ちをまとめる活動を行えば、言いたい内容を構成(文のつながり)を考えながら伝えられるようになるであろう。

I 題材名 興味のある人物やキャラクターについて、スピーチしよう

Program 8 Origami (Sunshine English Course 1)

II 学習指導要領上の位置付け

オ 話すこと [発表]

(イ) 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどをまとめ、簡単なスピーチをする活動。

III 考察

(1) 教材観

本校では、次期学習指導要領施行にむけた取組として、「相手意識をもち、やり取りをしながら自分の考えや意見を理由を付け加えて話したり、語るように発表(プレゼンテーション)したりできる」生徒の育成を目指している。

本題材では、生徒が興味のある人物やキャラクターについて、スピーチをする。自分の興味のある人物やキャラクターについて伝え合う活動は、生徒が魅力を感じているものであり、分かりやすく伝えたい、友だちの情報をもっと知りたいという意欲がもてる題材である。

本校の目標をふまえ、本題材で伸ばしたい力は主に2つある。1つ目は、「話し手・聞き手双方の相手意識を大切にしながら、思いや考えを伝え合う表現力」である。聞き手の理解に配慮をしながら話すとともに、話し手の紹介やスピーチに反応を示したり(response)質問したりできる力を伸ばしたい。2つ目は、「聞き手に内容が適切に伝わるように、構成(文のつながり)を考えてスピーチをする力」である。マッピングメモを使いながら考えを広げ、既習のつなぎ言葉を使ったり、文の並び順を考えたりしながら、よりまとまりのある分かりやすいスピーチをする力を養いたい。

上記の力を伸ばすために、帯活動の「Communication Time」では、相手意識を大切にしながら、即興的にやり取りをしたり、人物やキャラクターを紹介したりする活動を継続的に行っていく。また、教科書の単元「Program5 国際フードフェスティバル」から本単元にかけて、他者紹介につながる表現を多く学習するため、マッピングメモをもとにやり取りをしたり、マッピングメモに情報を書き加えたりする活動を繰り返し行っていく。また、文の構成(文のつながり)を考え、書いたスピーチ文を読みあうなど、4技能を活用する活動を取り入れ、コミュニケーションを図る資質・能力を伸ばしていきたいと考える。

(2) 生徒の実態

- ・小学校外国語活動・教科英語を通して、英語の音声や英語によるコミュニケーション活動に慣れ親しんでいる生徒が多い。
- ・帯活動である Communication Time に継続して取り組むことで、即興的に思いや考えを述べられる生徒が増えてきた。
- ・会話活動では、話し手に反応 (response) を示しながら活動に取り組める生徒が多い。(以後省略)

IV 単元の見積

興味のある人物やキャラクターについて、双方の相手意識を大切にするとともに、伝えたい内容を構成(文のつながり)を考えて、スピーチすることができる。

V 指導計画(全8時間予定)

| | | | | | |
|------|--|---|---|----|---|
| 評価規準 | コミュニケーションへの関心・意欲・態度 | 興味のある人物やキャラクターについて、相手意識を大切にしながらスピーチをしようとするとともに、友だちのスピーチを聞いて、反応を示したり質問したりしながら適切に応じようとしている。 | | | |
| | 外国語表現の能力 | 興味のある人物やキャラクターについて、聞き手や読み手に内容が正しく伝わるように、構成(文のつながり)を考えながら、スピーチをしたり、つなぎ言葉を使って文章を書いたりすることができる。 | | | |
| | 外国語理解の能力 | 友だちの興味のある人物やキャラクターについてのスピーチを聞いて、反応を示したり質問をしたりしながら、適切に応じることができる。 | | | |
| | 言語や文化についての知識・理解 | 他者紹介に必要な be 動詞、三人称単数現在形、can などの既習表現を、適切に活用しながら活動に取り組むことができる。 | | | |
| 時間 | ○ねらい ・主な学習内容 | 評価の観点 | | | 評価項目 (方法) |
| | | 関 | 表 | 理言 | |
| 1 | ○興味のある人物やキャラクターの特徴について話すことができる。 ・教師のモデルスピーチを聞く。 ・興味のある人物やキャラクターの特徴について、既習事項を使って会話をする。 | | | | ○ 興味のある人物やキャラクターの特徴について、既習表現を使いながら、話すことができる。 (観察・リフレクションシート) |
| 2 | ○興味のある人物やキャラクターができることについて、既習表現を使って書くことができる。 ・教科書本文の内容理解と音読をする。 ・できることを2～3文で書く。 | | ○ | | 興味のある人物やキャラクターができることについて書くことができる。 (ワークシート) |
| 3 | ○興味のある人物やキャラクターの特徴について、マッピングメモに情報を単語や句で書くことができる。 ・教科書本文の内容理解と音読をする。 ・マッピングに情報を単語や句で書く。 | | ○ | | 興味のある人物やキャラクターについて、マッピングメモに情報を単語や句で書くことができる。 (ワークシート、リフレクションシート) |
| 4 | ○教科書本文を読み、大介、ウッド先生ができることを伝え合うことができる。 ・教科書本文の情報をもとに、大介、ウッド先生ができることを伝え合う。 | | | ○ | 教科書本文を読み、大介、ウッド先生ができることを伝え合うことができる。 (観察、リフレクションシート) |
| 5 | ○興味のある人物やキャラクターについて、マッピングメモを参考にしながら、紹介することができる。 ・マッピングメモを参考に、紹介する。 | | ○ | ○ | 興味のある人物やキャラクターについて、マッピングメモを参考に紹介することができる。 (観察、リフレクションシート) |

| | | | | | |
|-----------|---|---|---|---|---|
| 6 (本時) | <ul style="list-style-type: none"> ○興味のある人物やキャラクターについて、言いたい内容を構成（文のつながり）を考えて紹介することができる。 ・マッピングメモに情報を付け足す。 ・付け足した情報を使って、言いたい内容を、構成（文のつながり）を考えて紹介する。 | | ○ | | <p>興味のある人物やキャラクターについて、言いたい内容を構成（文のつながり）を考えて紹介することができる。</p> <p>（観察、リフレクションシート）</p> |
| 7 | <ul style="list-style-type: none"> ○興味のある人物やキャラクターについて、文章を書くことができる。 ・お互いに文章を読みあい、気づいたことを伝え合いながら、構成（文のつながり）を考えた文章を書く。 | | ○ | | <p>興味のある人物やキャラクターについて、文章を書くことができる。</p> <p>（ワークシート）</p> |
| 8 | <ul style="list-style-type: none"> ○興味のある人物やキャラクターについて、スピーチすることができる。 ・スピーチをする。 ・スピーチを聞いて、反応を示したり質問をしたりしながら適切に応じる。 | ○ | ○ | ○ | <p>興味のある人物やキャラクターについて、相手意識を大切にするとともに、言いたい内容を構成（文のつながり）を考えて、スピーチすることができる。</p> <p>（観察、リフレクションシート）</p> |

VI 本時の展開（6／8）

- ねらい 興味のある人物やキャラクターについて、マッピングメモを活用しながら、言いたい内容を構成（文のつながり）を考えて紹介することができる。

2 展開

| 学 習 活 動 | 指導上の留意点及び支援のポイント | | |
|--|---|--|--|
| | T1 | T2 | T3 |
| 1 Communication Time を 行う。(10分) <ul style="list-style-type: none"> ・「Card Switch Mingle」に取り組む。 カードに写った人物やキャラクターについて、即興的にヒントを出す。 | <ul style="list-style-type: none"> ○活動後に、カードを一枚選び、そこに写った人物やキャラクターについて出せるヒントを確認することで、次の活動で活用できるようにする。 | <ul style="list-style-type: none"> ○積極的に活動に参加し、コミュニケーションの相手となる。 ○必要に応じて、活動で使えるヒントを紹介し、参考にできるようにする。 | <ul style="list-style-type: none"> ○活動が行えない生徒には、個別で一緒に発音する。 |
| 2 展開(30分) ①本時のめあてをつかむ。 | めあて 興味のある人物やキャラクターについて、マッピングメモを活用し、つなぎ言葉を使いながら、文のつながりを考えて紹介できる。 | | |
| ②興味のある人物やキャラクターについてやり取りする。(STEP1) | <ul style="list-style-type: none"> ○相手意識を大切にしながら、やり取りに取り組ませる。 | <ul style="list-style-type: none"> ○生徒の発話に反応を示したり、質問したりして、活動のモデルとなる。 | <ul style="list-style-type: none"> ○活動に取り組めない生徒には、個 |

| | | | |
|---|--|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ペアでやり取りする。 ・マッピングメモに必要な情報を付け足す。 <p>③マッピングメモに加えた情報を付け足しながら紹介する。(STEP2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3人組で紹介し合う。 ・教師のモデルを聞く。 <p>④言いたい内容を、構成（文のつながり）を考えて紹介する。(STEP3)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3人組で紹介し合う。 ・代表生徒の発表を聞く。（中間評価） ・代表生徒のよかった点を参考に、もう一度紹介活動を行う。 | <ul style="list-style-type: none"> ○やり取りを通して、得た情報を付け足すモデルを示す。 ○情報を付け足しながら紹介ができるように、必要に応じてモデルを示す。 ○T2のモデルから、文のつながりやつなぎ言葉の大切さに気付かせる。 ○よく活動が行えている生徒には、よい点や表現方法を具体的に賞賛し、必要に応じて、それらを全体に共有する。 ○代表生徒の発表では、よい点を具体的に賞賛し、生徒が次の活動にいかせるようにする。 | <ul style="list-style-type: none"> ○T1がマッピングメモに情報を付け足せるように、質問をする。 ○情報が付け足せない生徒には、個別でさらに情報が伝えられるような質問をする。 ○文のつながりを考え、つなぎ言葉を使った紹介のモデルを示す。 ○机間巡視をしながら、助言を与えたり、文のつながりやつなぎ言葉を意識した文章や表現を個別で一緒に発音したりする。 ○生徒の紹介に反応を示したり、質問をしたりしながら、コミュニケーションのモデルとなる。 | <ul style="list-style-type: none"> 別に支援する。 ○紹介が行えない生徒には、個別で一緒に発音する。 ○構成（文のつながり）が考えられない生徒には、個別で支援する。 ○よく活動が行えている生徒には、よい点を具体的に伝え、賞賛する。 |
| <div style="border: 2px solid black; padding: 5px;"> <p>◎望ましい代表生徒の様子</p> <ul style="list-style-type: none"> ①まとまりのある内容で紹介している。 ②聞き手の様子を確認しながら話している。 ③聞き手は、うなづいたり質問したりしながら聞いている。 </div> | | | |
| <div style="border: 2px dashed black; padding: 5px;"> <p>【外国語表現の能力】</p> <p>興味のある人物やキャラクターについて、マッピングメモを活用し、言いたい内容を構成（文のつながり）を考えて紹介することができる。</p> <p style="text-align: right;">（観察、ワークシート、リフレクションシート）</p> </div> | | | |
| <p>3 本時のまとめ、振り返りを行う。(10分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時の活動を振り返り、紹介活動で言えたことを英語で書く。 ・Reflection Sheetに本時の振り返りを書く。 | <ul style="list-style-type: none"> ○本時の活動を振り返ることができるように、文章例を示す。 ○本時では、正確性は重要ではなく、言えたことを書けることが大切であることや、英語ファイルや資料を参考にすることを伝える。 | <ul style="list-style-type: none"> ○英語で文章を書くことができない生徒には、書く内容が思い浮かぶような質問をしたり、英語の表現を伝えたりする。 | <ul style="list-style-type: none"> ○言えた内容を英語で書けない生徒には、個別に支援をする。 |